
ハリー・ポッター 戦いの後 1

夏見里

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハリー・ポッター 戦いの後1

【Nコード】

N7862E

【作者名】

夏見里

【あらすじ】

ハリーとヴォルデモードの最後の戦いが終わった。その後から19年後までのお話。

「僕はもう一生分の厄介を十分味わったよ」。

グリフィンボールの塔に戻ると、

マクゴナガル教授が、声をかけてきた。

「疲れたでしょう？今日はもうお休みなさい。とは言っても、戦いの後で、校内はひどく荒れていますから、そんなにゆっくりはできないかもしれません」。

ハリーは四本柱のベッドを思い浮かべ、嬉しくなった。

そこで、ハーマイオニーが現実に引き戻した。

「ありがとうございます、マクゴナガル教授。でも、私たちは、学校を辞めた身です。寮に戻る資格はないのでは？」

「今年の新学期にウィーズリー氏から連絡がありました。三人は、社会勉強でマグルの世界に留学中の為、ホグワーツを休学したいのですから、あなた達の部屋はそのままになっています。」

学校に戻って勉強ができると喜んだのは、ハーマイオニーだ。

ハリーも戻る場所があることを喜んだ。

ロンだけが、学校に戻る気分と今までの放浪の旅を思い出し、複雑な顔をした。

「スネイプ校長は、それを認めたのですか？嘘だって直ぐにばれる。だって、実際にマグルの学校に行っていたわけではないし…。」

「それは、壁にかけてあった先代のダンブルドア校長が説得してくれました。『全てが片付いていれば、他の二人はともかく、ポッターは戻ってくるハズがない。他の二人でさえ、無事で戻る可能性は低い。だったら、現段階では、3人とも退学にするより、休学の方

が、他の生徒にも影響を与えなくて済むのではないかな?』と。もちろん、校長が本心でそう言ったわけではありません。スネイプだって…。」

そこまで言うと、マクゴナガル教授も口をつぐんだ。

「さあさあ、早く寮に戻ってお休みなさい。そして、明日は朝から城内の片付けですよ。」

三人は、寮に戻っていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7862e/>

ハリー・ポッター 戦いの後1

2010年10月28日08時03分発行